

「おうみ学生未来塾」(2023年度) 受講案内

未来を切りひらく力を高めませんか？

1、「おうみ学生未来塾」(大学連携型PBL科目)とは

- ☑ 豊かな自然と歴史、都市から農山漁村まで様々な地域の特徴をもつ「おうみ」(滋賀県)をフィールドに、地域に出かけ、地域の人々と話し合っ、課題を発見し、具体的な解決をめざすトレーニングを行います。実践的な課題解決能力、コミュニケーション能力を向上させ、自ら未来を切りひらく力を高めることができます。
- ☑ 滋賀県内13大学・短期大学と地域の自治体などが協力し、地域で、他大学の学生と一緒に学び、交流する機会を提供します。
- ☑ 滋賀県内の大学・短期大学に所属する学生は、だれでも受講できます。対象は、四年制大学が2年次以上、短期大学が1年次以上です。
- ☑ 単位互換制度により所属大学・短期大学の単位として認定されます。
- ☑ 受講料は無料です。ただし、受講地までの交通費、合宿費などが必要です。
- ☑ おうみ学生未来塾科目は、1年に1科目のみ出願できます。



2、大学連携型PBL科目とは

- ☑ 「おうみ学生未来塾」は大学連携型PBL科目です。

たとえ知識を持っていても、いざ現実の問題に直面したら、どうしていいのかわからないのが普通です。PBL (Problem Based Learning) 科目は課題解決型学習と呼ばれ、身近な問題や事例を素材とし、問題発見・問題解決に向けてチームで取り組む手法を用いた科目です。知識あるいは情報を補いながら、現実の問題解決に応用していくトレーニングをはじめ、チーム内で他者から学ぶ手法や他者と一緒に問題解決に主体的・能動的に関わろうとする態度を養うことができます。
- ☑ 多様な学生が集う大学連携型のメリット

滋賀県内には専門分野の異なる大学・短期大学が13校もあり、そこに学ぶ学生が、それぞれの視点や知識を持ち寄ることで、現実の問題を多面的に理解することができます。そこから多面的な解決策を提案し、最も効果的で実行可能なものを選択することができます。さらに、異なる大学・短期大学の学生と体験を共有し、コミュニケーションできることも大きなメリットです。

3、2023年度「おうみ学生未来塾」科目

① おうみ学生未来塾・湖東

いま、ここにあるめぐみを活かす地域デザイン

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。提案した内容が地域で実践されたり、人びととの対話をきっかけに地域での新たな活躍の場を獲得するなど、学生にとっても様々なチャンスにつながる機会になっている。



- ① 夏期3日間の集中講義として行う（2023年度は9月中旬に開講予定）。
- ② 学生、院生混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。
- ③ 地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。
- ④ 地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。



滋賀県立大学 提供

科目名 おうみ学生未来塾（湖東）（滋賀県立大学科目名「地域デザイン A」）

実施場所 滋賀県立大学、および滋賀県内連携自治体内

（過去のフィールド）竜王町鶴川地区、長浜市鍛冶屋地区、大津市ナカマチ商店街 ほか

実施時期 9月中旬から下旬 9：00-18：00

担当教員 滋賀県立大学 上田 洋平 講師・鶴飼 修 教授 ほか

授業テーマ 「いま、ここにあるめぐみを活かす地域デザイン」

到達目標

- (1) 様々な地域再生事業の概要及び実施手法について理解し説明できる。
- (2) フィールドワークやワークショップにより地域の現状と課題についての確に把握し整理することができる。
- (3) 地域資源を活かした地域再生事業を企画し提案することができる。

授業形態 1日目 座学・ワークショップ
2日目 フィールドワーク
3日目 チームごとに地域再生提
案をまとめ、発表・講評

受講対象 大学2年次以上
短期大学1年次以上

成績評価 到達目標に示す(1)(2)につ
いてはワークブック(70%)
により、(3)についてはフィー
ルドワーク成果物および成果物
に基づくプレゼンテーション(30%)により評価する。

定員 30名

アクセス等 滋賀県立大学。交通機関の条件が悪いフィールドへの移動は貸し切りバス等
を利用する。

費用負担 大学および貸し切りバス等乗車集合場所までの交通費、昼食代は各自負担



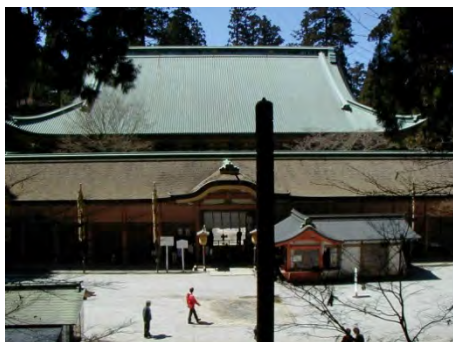
② おうみ学生未来塾・湖西

日本人の信仰のあり方と山村集落のコミュニティの 現状と課題を考える（近江学 A）

成安造形大学が位置する近江（滋賀県）は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えています。

この科目は、本学近くにある比叡山延暦寺と麓の門前町坂本をフィールドワークしながら、大津市が現在取り組んでいる歴史的風致維持向上計画を理解し、そのうえで、歴史的資源を活かした持続可能な活性化の取り組みを考えます。このように、伝統的な風習を残す地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を見につけ、自らの作品制作や未来の生活に生かすことを目的とします。

最終的には、歴史的風致を守り、そこに暮らす人々が幸せになるようなアイデアをグループで話し合い、パワーポイントにまとめて発表してもらいます。



成安造形大学 提供

| | |
|-------|---|
| 科目名 | おうみ学生未来塾（湖西） （成安造形大学科目名 「近江学 A」） |
| 実施場所 | 成安造形大学 大津市仰木の里東4-3-1 比叡山延暦寺・日吉大社・律院・滋賀院門跡・穴太衆積みなど |
| 実施時期 | 9月集中講義（9月4日、5日、6日、7日） |
| 担当教員 | 加藤賢治教授・仁連孝昭特別講師 |
| 授業テーマ | 「地域を知ることの大切さを学ぶ」 |
| 到達目標 | ① 難解な日本の神仏のあり方についてわかりやすく理解できる ② 先人の知恵をたどり、今に伝えられる大切な事象を捉えて今に活かすことができる ③ どこの地域においても活かすことのできる普遍的な価値観を身につけることができる ④ フィールドワークを通じて地域の暮らしやコミュニティのあり方について考えることができる ⑤ グループワーク・ディスカッションを通じてまとめる力や発表する力を身につけることができる |
| 授業形態 | 1日目 ガイダンス フィールドワークの概要と目的（オンデマンド配信） 2日目 比叡山延暦寺 三塔（東塔・西塔・横川）をめぐる |

| | |
|-------|------------------------------|
| | 3日目 延暦寺の麓、門前町坂本のフィールドワーク |
| | 4日目 大学にてグループディスカッションと発表 |
| 受講対象 | 大学2年次以上 短期大学1年次以上 |
| 成績評価 | 授業態度50%、レポート評価30%・プレゼン力評価20% |
| 定員 | 若干名 |
| アクセス等 | 成安造形大学 現地集合の場合は別途案内する。 |
| 費用負担 | 集合場所までの交通費、入館料等（1,000円程度） |



4、出願から成績評価まで

1. 履修計画を立てる（3月～4月上旬）

受講案内や科目開講大学で開かれるガイダンスなどで、授業スケジュール（開講曜日、時限）、授業実施場所などを確認のうえ、受講したい科目を選んでください。シラバスは、コンソーシアムホームページで3月下旬に公開予定です。

2. 出願（4月上旬～中旬）

環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページより出願票をダウンロードし、受講したい科目名と志望理由などを記入して、所属大学に出願します。科目によっては、履修許可発表が授業開始に間に合わない場合がありますので、許可発表までは仮受講してください。

3. 許可発表

科目開講大学で選考され、選考結果は所属大学・短期大学を通じて4月末頃までに通知されます。出願した場合は、必ず所属大学・短期大学に確認してください。許可発表の後、科目開設大学・短期大学によっては「特別聴講生証」発行などの手続きが必要な場合がありますので、科目開設大学・短期大学の指示に従ってください。また、受講は原則として無料ですが、実習費、演習費が必要な科目については、履修許可の後で、科目開設大学・短期大学の指示に従って納入してください。

4. 追加募集（6月頃）

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は、6月頃に追加募集を行います。追加募集の許可発表は7月上旬頃の予定です。詳しくは所属大学・短期大学、環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページで確認してください。

5. 休講、補講、教室変更等の連絡

休講等の連絡は、原則として科目開設大学・短期大学から所属大学・短期大学に通知します。所属大学・短期大学で各自確認してください。

6. 試験・レポート提出等

単位互換科目の試験・レポート提出等に関しては、所属大学の期間と異なることがあります。必ず科目開設大学の単位互換担当窓口や掲示・案内などで確認してください。

7. 成績評価・単位認定

単位互換科目の成績通知の時期や単位認定の時期（学期末・年度末）は所属の大学・短期大学により異なりますので所属の大学・短期大学に確認して下さい。

5、よくある質問

1. 授業の詳細な内容を知りたいです。

環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページからシラバス（科目一覧）を確認してください。シラバスは3月下旬公開予定です。

2. 「おうみ学生未来塾」は誰でも参加できますか？

環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換制度を使っているため、滋賀県内の大学・短期大学に所属している学生であれば誰でも受講できます。ただし、4年制大学の場合は2年次以上の学生であることが必要です。

3. どのようにすれば、「おうみ学生未来塾」を受講することができますか？

シラバスに記載されている授業や活動の日程・実施場所等を確認し、参加が可能であることを確かめた上で、環びわ湖大学・地域コンソーシアムのホームページから出願票をダウンロードして、志願理由などを記入の上、所属大学・短期大学から出願してください。

4. 開講日や提供大学が異なる複数の「おうみ学生未来塾」を出願することは可能ですか？

科目運営の都合上、同一年度に「おうみ学生未来塾」を複数科目出願することはできません。よく考えた上で、一科目のみ出願してください。

5. 追加募集（6月）で出願はできますか？

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は追加募集されますので、出願できます。その場合でも、同一年度に複数のおうみ未来塾科目を出願することはできません。

6. 授業に関わる専門的な知識や技能がないのですが、受講できますか？

受講可能年次（学年）の制限や、必要な専門技能等の条件がある場合は、シラバスに記載されますので、それらを確認の上、出願してください。

受講条件に関する記述がない場合は、年次や専門的力量的の有無に関係なく受講できます。

7. 受講料等の負担はありますか？

基本的に受講料等は無料ですが、実習費、演習費が必要になる場合があります。また、現地までの交通費やフィールドワークの場合の合宿費等は自己負担となります。詳しくはシラバスを確認してください。